

GIGA スクール構想とは

1人1台タブレット端末と高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、子どもの資質・能力が、より確実に育成できる教育環境を実現し、これまでの教育方法とバランスよくミックスさせ、子どもたちや教職員の力を最大限に引き出そうとするために、文部科学省から提示された構想のことです。

垂水らしい GIGA スクール構想の4つの特徴

①「持ち帰り前提」の端末整備

必要に応じて、家庭での宿題や調べ学習で活用します。Wi-Fi ルーターの貸し出しも行っています。

②生活面でも活用

心と学びの振り返りシステム「スクールライフノート」を導入しています。教職員は、子どもたちの「変化」にいち早く気づき、適切な「声掛け」や「支援」を行います。

③AIドリルの導入

AI（人工知能）が一人一人の理解度に合わせた問題を自動的に出題し、解説動画で学習できます。

④遠隔授業による交流促進

Web 会議システムを活用し、市内外の学校をつないで、遠隔授業や交流学習を進め、多様な考えに触れ、学習を深めます。

夏休みの宿題もデジタル化？

右記 QR コードから、KKB 鹿児島放送様で放送された夏休みの宿題の動画をご確認いただけます。



▲垂水小学校1年生の音楽の授業の様子。机の上には、鍵盤ハーモニカとタブレットが

置かれており、新しい教育の現場を目の当たりにしました。

特集2

教育環境整備の取組

「GIGA スクールのまち 垂水」を目指して 未来へ種をまく

本紙の7ページに掲載した鹿児島女子短期大学との包括連携協定等によって、これからますます充実していくことが期待される「垂水市のGIGAスクール構想の今」を特集で紹介いたします。

■県内トップクラスを更に磨く

本市は、「妊娠期から子育て期まで、切れ目のない子育て支援」の実現に取り組んでおります。その実現に必要な教育環境の充実を図るため、令和3年度から機器の環境整備等やタブレット端末を活用した取組が質・量共に県内トップクラスである「垂水らしいGIGAスクール構想」を推進しております。

また、今年度からは、鹿児島女子短期大学の渡邊光浩准教授をGIGAスクールアドバイザーとして招聘し、教職員の研修会や保護者を対象とした講演会等、様々な場面でご助言を賜っております。

今回の包括連携協定により、「垂水らしいGIGAスクール構想」を更に磨き、子どもたち、教職員の力を最大限に引き出してまいります。

■次は地域全体へ行政DX化

GIGAスクール構想が進んでいる一方で、行政におけるデジタル化である、行政DX（デジタルトランスフォーメーション）化はこれからの課題でもあります。今後は、行政DX化を進め、全ての市民がメリットを享受でき、心豊かな暮らしを実現できるように事業を推進してまいります。